

ドクターヘリの搬送実績と評価

公明党 松宮 健治

【質問】 運航開始からほぼ1ヶ月が経過したが、搬送実績と評価を聞きたい。

【答弁】 運航開始以来、3月10日までの23日間で13件の出動があり、最も遠い奥尻町でも40分での到着と、医療者を迅速に届け、一刻も早く初期治療を開始するとの目的は達せられている。

東部4地域での地域医療の充実

市民クラブ 工藤 篤

【質問】 恵山・南茅部両病院の存続は地域にとって切実な課題だが、地域医療の充実について見解を伺いたい。

【答弁】 若年人口が流出し、高齢者世帯が増加している地域の現状を踏まえると、在宅医療や外来診療の提供だけでなく、入院病床を有した夜間の急病対応ができる医療施設があることが望ましい。



福祉・介護施設人材確保促進事業

日本共産党 本間 勝美

【質問】 昨年7月から実施した福祉・介護施設人材確保促進事業の実績と、来年度の実施予定について伺いたい。

【答弁】 本事業による介護施設等への就業実績は70人だが26年度で終了する。27年度は、道で検討している新たな事業の動向を注視し人材確保に努めたい。

若松地区での旅客船ふ頭の整備

市政クラブ 北原 善通

【質問】 国の事業採択が厳しいことから事業費圧縮の検討を進めているとのことであったが、その後の状況はどうか。

【答弁】 国とともに事業採択に向けた検討を深めている。地域経済への影響やまちづくりの観点からも、早期採択に向け積極的に協議を進めていきたい。

※ 地域包括支援センターの充実と周知

民主・市民ネット 小山 直子

【質問】 認知症高齢者の相談先として地域包括支援センターの役割は重要だが、その充実や周知をどう考えているか。

【答弁】 28年度から同施設を10カ所とし、よりきめ細やかな対応を可能とする。高齢者あしん相談窓口というわかりやすいサブネームにより周知を図っている。

胃がん予防への取り組み

公明党 池亀 睦子

【質問】 若い世代でピロリ菌を除菌すれば、ほぼ100%胃がんを予防できると言われているが、市の取り組みを伺いたい。

【答弁】 特定健診対象者のうち40歳と45歳の方にABC検診無料クーポンを配付予定のほか、中学生対象の尿による簡便な検査実施に関係者と協議している。

将来的な地域連携と連携中核都市圏

市政クラブ 小野沢 猛史

【質問】 本市が連携中核都市圏構想でいう中心となり周辺市町を牽引していく旨総合戦略に示すべきと思うがいかがか。

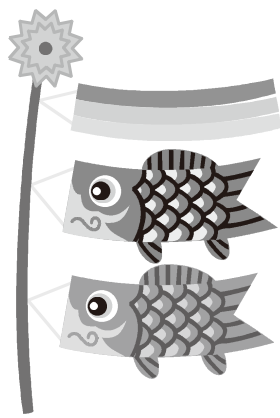
【答弁】 まずは、定住自立圏の中心市として役割を果たしていく。連携中核都市圏については中核都市の役割や構成市町のメリットを把握し協議していく。

街路灯のLED化

日本共産党 紺谷 克孝

【質問】 町会が管理する街路灯のLED化の実績と今後の見込みを伺いたい。

【答弁】 町会等管理の街路灯約2万3千灯のうち約2割がLED化されている。平成27年度の設定要望約3千灯でこのまま推移すると、5、6年後にはほとんどがLED灯になると考えている。



防災行政無線の有効活用

市政クラブ 吉田 崇仁

【質問】 今後は個人住宅に戸別受信機を設置する必要があると考えるがいかがか。

【答弁】 災害情報の有効な伝達手段だが、相当の経費を要することや、設置対象地域、設置後の更新費用や維持管理など、整理すべき課題が多くあるため、地域の声を聞きながら調査を進めたい。

湯の川温泉街の活性化

民主・市民ネット 板倉 一幸

【質問】 湯の川温泉街の現状とこれからについて市長の考えを伺いたい。

【答弁】 個々のホテルに客を引き込む努力が必要で、2人部屋の設定等これから主流となる個人客への対応は経営者も考えなければならぬ。そういう転換を図る場合、市としても支援したい。

地方移住の推進

公明党 小林 芳幸

【質問】 若い世代の地方移住を支援し、地域活性化に寄与する「地域おこし協力隊」の活用について考え方を伺う。

【答弁】 隊員は、主に農村、漁村で地域協力活動に従事していることから、本市においても制度を有効に活用できるか検討していきたい。

学童保育への支援

日本共産党 市戸 ゆたか

【質問】 学童保育の標準モデルを作成することだったが、まだ出来ていない。現在、どう考えているのか。

【答弁】 作成に時間を要している。当面、標準モデルができないのであれば、保育料軽減や指導員等の処遇改善などの視点で検討するよう担当部に指示している。

観光需要喚起の取り組み

市政クラブ 藤井 辰吉

【質問】 外国人観光客の国別の行動パターンや好みの傾向分析を行い、市内の観光業者に情報を提供する考えはあるか。

【答弁】 国などが実施した調査結果等を活用して多様なニーズの把握に努め、ホームページやセミナーなどを通して観光関連事業者と情報を共有したい。

女性のためのワンストップ窓口

市政クラブ 工藤 恵美

【質問】 子育て、労働など女性に関することを網羅したワンストップ窓口やセンターの開設について考えを伺いたい。

【答弁】 常設とはいかないが、出産、子育て、働く環境などを単一的ではなく、流れの中で全てをワンストップで相談できる体制ができればと思っている。

※地域包括支援センター…市内に委託設置している高齢者の相談窓口であり、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーなどの専門職が中心となって、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、各職種が連携しながら総合的な支援を行っている。